

鉄道ピクトリアル

2016年11月号 Vol.66 No.11 通巻No.924

<特集> キハ40系(I)

■表 紙 高崎一区投入当初のキハ40 2085太田正行

高崎第一機関区 1980-8-28

■グラフ

キハ40系 北から南—国鉄時代 活躍の跡— (1~8ページ)

太田正行・川井一彦・梶田俊幸・三田研慈・澤木良直

.....三ッ谷政久・安保 優・根本幸男・喜多川昌也・福井 弘
藤木正成・小林 武・石原裕紀

キハ40系カラーバリエーション全128色(前編) (81~87ページ)

.....構成: 藤田吾郎

*

キハ40系形式集(1)構成: 平石大貴 42

*

JR九州BEC819系蓄電池電車「DENCHA (DUAL ENERGY) CHARGE TRAIN」／東京地下鉄日比谷線用13000系／JR 東日本高崎地区3線区に211系を投入／相模鉄道厚木線乗 車体験会2016を開催ほか	88~90
	100

各地の話題から白川 淳 91

トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)92

京都鉄道博物館で夏休みイベントを実施寺井 利彦 101

南海2000系の形態バラエティ沼尾 吉晃 102

■本文

今月の話題: キハ40系(I)編集部 9

キハ40系気動車のあゆみ(1)平石 大貴 10

JR各社 キハ40系の現況西脇 浩二 60

急行形キハ400系の活躍藤田 吾郎 72

*

平成28年度大手民鉄等の設備投資計画(中部・西日本編)編集部 76

鉄道の話題編集部 80

旧姫路市営モノレール大将軍駅が公開される岸上 明彦 104

書評(621)『汽車・電車・市電—昭和の名古屋 鉄道風景』三木 理史 107

JR西日本323系鍋谷 武司 108

JR東海リニア・鉄道館のモハ63638号電車が

産業考古学会の推薦産業遺産に石本 祐吉 114

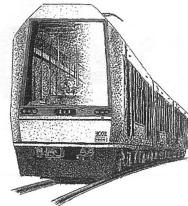
絵葉書のなかの国鉄ローカル線(2) 後藤寺線白土 貞夫 116

8月のメモ帳118

読者短信・情報ファイル119

後部車から123

ISSN0040-4047
Tetsudō pikutoriaru



カット: 山本茂樹

キハ40系(I)

キハ40系はキハ40、キハ47、キハ48の3形式を中心構成される一般形気動車のグループで、それぞれに新製時から酷寒地用、寒地用、暖地用、さらにトイレの有無で番代区分されていた。国鉄時代の1977(昭和52)年に登場し、北海道から九州まで全国各地の非電化の地方区間に投入が進められ、1982(昭和57)年まで888両が新製されたもので、国鉄時代最後を飾る標準形気動車と位置づけられる。国鉄では1950年代より気動車の開発が本格的に進められ、キハ17形をはじめとしたキハ10系が最初の標準形として全国展開され、大きな実績を残したが、主にその老朽置換を意図してキハ40系が開発された。当時電化の進展で気動車在籍数が減少傾向にあったものの、当時はまだ地方交通線も多数あり、引き続き気動車の需要は高いという見込みの中で増備が続けられたのである。

キハ40系は形態としては1966(昭和41)年に登場した近郊形キハ45形の系列がベースとされているが、形態的には1975(昭和50)年にデビューした車体裾を絞ったキハ66・67形に近いイメージである。走行機器も機関形式は異なるが、キハ66・67形と部品の共通化が図られている。同系が北九州地区に特定した用途であったのに対し、キハ40系は簡易線を含めた全国の路線へ投入する目的があつたため、全体の軽量化が進められ(その割にはあまり軽くない)、また、キハ45形の系列に比べて座席幅やピッチの拡幅で居住性が向上、首都圏の一般形で進んでいた朱5号で1色塗装された外観などが特徴点である。わずか5年間で大量増備が実施され、瞬く間に地方の非電化路線に進出し、北海道ではローカル急行にも運用された。国鉄時代に1両事故廃車があり、887両が1987(昭和62)年JR各社に継承された。

TETSUDŌTOSHO KANKOKAI
Mehrlicht Ochanomizu Bldg., Kanda
Ogawamachi 3-8 Chiyodaku, Tokyo/Japan

今月の話題